
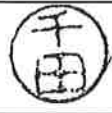







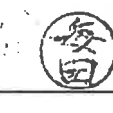



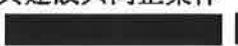





業 務 報 告 書

所長	副所長兼 総務部長	次長 (総括)		水産漁港 部長	漁港整備 専門監	次長 (総括)	技術次長 (総括)	技術次長 (技術指 導・調整担 当)
								
				漁港漁場 第一班長	副班長	班 員		
								 

件 名 気仙沼漁港 魚町地区防潮堤 地盤隆起に対する対応について

年月日 平成30年3月15日 場 所 気仙沼地方振興事務所

出席者
 ・気仙沼地方振興事務所 水産漁港部
 工藤専門監、軽部総括、今野班長、千葉副班長、二階堂技師
 ・受注者①：小野良・佐藤庫組復旧復興建設共同企業体
 小野寺専務、  
 ・受注者②：日本自動機工（株）東北支店
 柳沢常務、三品支店長、 

配布
資料等 別添のとおり

業 務 報 告

(概要)

気仙沼漁港南町地区防潮堤（魚町工区）について、地盤隆起22cmが反映されていない形で現地施工されており、当該地区については計画決定時に高さについてシビアだった地区であり、地盤隆起分も下げるように要望されていることから、部分的に完成した施設の修繕（嵩下げ）も視野に入れ、これまでの時系列確認、問題点の抽出また、費用負担が生じる可能性がある旨を平成30年3月12日に各関係者へ説明し、会社としての意見、考え方の整理を依頼していた。

整理がまとまったことから、会社としての意見、考え方を伺ったもの。

(内容)

(H27県債海交復気-002号受注者②：日本自動機工（株）東北支店)

15:00～

(2)

(2)

(2)

(事)

(2)

(2)

(2)

(2)

(2)

(2)

(2)

(事)

(2)

(事)

(2)

(事)

(2)

(事)

(事)

(事)

(2)

(事)

(2)

(2)

(事)

(2)

(2)

(事)

(H27県債海交復気-A01号受注者①：小野良組・佐藤庫組復旧復興建設共同企業体)

16:00~

(1)

(事)

(①)

(事)

(①)

(事)

(①)

(事)

(①)

(事)

(①)

(①)

(①)

(事)

(今後)

[Redacted]

以 上



ゲート設計・施工に関する時系列状況



日本自動機工株式会社 東北支店

時期	状 況	摘 要
H29.3.8	打合せ：標高に関して、基準標高変動のため「実際の施工は標高管理時・220mmで管理し、標高表示は元のままとする」旨の指示を受ける。	参考資料①
H29.3.17	受信メール：発注者から関連業者へ構造図修正版（第2回変更）が送信される。	
H29.3.21	①送信メール：弊社から発注者及び各関連業者へ躯体形状修正（案）を送信し、箱抜寸法・スパン寸法変更の依頼を行う。 ②受信メール：発注者からコンサル業者へ高さが見直されたことのお知らせ、それに関して躯体・杭についての修正を依頼している。（CCで関連業者にも送信） ③受信メール：発注者から弊社へ躯体形状のCAD図での修正を依頼された。（CC：関連業者）	
H29.3.25	送信メール：弊社から発注者及び関連業者へ3.21③の修正依頼に対しての成果品を提示した。	
H29.3.30	受信メール：弊社から提示したゲート据付部の躯体断面構造形状に関して、発注者から関連業者へこの構造で進めることの再確認があった。	
H29.5.12	送信メール：弊社から発注者へ据付時に標高の変動を加味することを念頭に置いていたため、エレベーションの指示書発行を依頼した。	参考資料②
H29.5.16	送信メール：発注者からの依頼で前監督員に送信していたCAD図を送信した。	
H29.5.31	受信メール：下部工から弊社へ配筋図を受領した。	
H29.6.1	受信メール：下部工から弊社へ目地割付図を受領した。	
H29.6.14	送信メール：弊社から発注者へ挿筋配置・箱抜形状・手摺配置・手摺アンカー板構造（案）を送信した。	
H29.6.15	送信メール：弊社から下部工へ挿筋配置・箱抜形状・手摺配置・手摺アンカー板構造（案）を送信した。	
H29.6.21	受信メール：下部工から弊社へ挿筋と配筋の干渉を調べた図面を受領した。	
H29.6.28	送信メール：弊社から下部工へ海側防護柵の配置（案）を送信し検討依頼をした。	
H29.8.2	送信メール：弊社から発注者へ挿筋配置変更図を送信した。	
H29.9.7	受信メール：防護柵業者から防護柵配置とブロック割の相関を確認し、整合性が取れているかの確認を下部工から依頼されその結果を報告した。	
H29.9.22	施工：中間検査で製作中の戸当り・扉体・駆動装置の製作寸法確認、機能性能確認を行った。	
H29.11.2	送信メール：弊社からゲートの最終図面を確認のため下部工に送信した。	
H29.11.6	受信メール：弊社から発注者へ23門で発注となったが21門でブロック割が決定した経緯を説明した。 受信メール：弊社から発注者へ上記の根拠資料を添付し送信した。	
H29.12.7	施工：据付準備で、下部工で施工に用いた仮ベンチの位置を聞き取りし、躯体の高さTP3.400、TP3.700、TP4.065の計測を行い、最大で+15mmほどの出来形で下部工図面と相違なく完成したことを確認した。据付標高が誤差を加味しても図面とほぼ一致しているため、据付準備に入った。	
H29.12.11	施工：U12・U11・U10の戸当りの据付開始。	
H29.12.20	施工：段階確認U11の戸当り据付寸法検査で据付標高の現場立会確認実施、結果合格。	参考資料③
H30.1.9	施工：U12・U11・U10の扉体・駆動装置の据付開始	
H30.1.16	施工：U9・U8・U7・U6の戸当りの据付開始。	
H30.2.2	施工：段階確認U7・U6の戸当り据付寸法検査を机上確認実施、結果合格。	参考資料④
H30.2.13	施工：U9・U8・U7・U6の扉体・駆動装置の据付開始。	
H30.2.21	施工：標高に関する打合せとのことで、「標高値一覧表」を受領。新・旧どちらの標高で施工し、その際の管理値の扱い方の説明を受けた。その際、弊社側で使用するベンチは旧標高値で施工する旨の説明を受けた。	

工事打合せ簿

発議者	<input type="checkbox"/> 発注者 <input type="checkbox"/> 請負者	発議年月日	平成29年3月23日
発議事項	<input type="checkbox"/> 指示 <input type="checkbox"/> 協議 <input type="checkbox"/> 通知 <input type="checkbox"/> 承諾 <input type="checkbox"/> 提出 <input type="checkbox"/> 届出 <input type="checkbox"/> その他 ()		
工事名	気仙沼漁港魚町地区防潮堤起立式ゲート工事		
工事場所	気仙沼漁港 気仙沼市魚町地区		
(内容) 第2回打合せ記録簿を提出します。			
添付図 葉、その他添付図書 第2回 打合せ記録簿			
処理	発注者	上記について <input type="checkbox"/> 指示 <input type="checkbox"/> 承諾 <input type="checkbox"/> 協議 <input type="checkbox"/> 通知 <input checked="" type="checkbox"/> 受理 します。	
	請負者	上記について <input type="checkbox"/> 了解 <input type="checkbox"/> 協議 <input type="checkbox"/> 提出 <input type="checkbox"/> 報告 <input type="checkbox"/> 届出 します。	
		年月日: H29. 3. 23	
		年月日:	

総括 監督員	主任 監督員	監督員
		

請負者	現場 代理人	主任 (監理) 技術者
日本自動機工(株) 東北支店		

第 2 回 打 合 せ 記 録 簿

工事名	平成27年度県債海交復気-002号 気仙沼漁港魚町地区防潮堤起立式ゲート工事		
発注者	宮城県気仙沼地方振興事務所	請負者	日本自動機工株式会社 東北支店
日時	平成29年3月8日 13:30~		
場所	気仙沼地方振興事務所 会議室	確 認	作 成
出席者	発注者： 技師 津谷 下部工： 小野良組 佐藤庫組 日本港湾コンサルタント サノコンサルタン	受注者： 現場代理人 監理技術者 品質証明員 協和製作所 藤井社長、	
内 容		決定事項	
《ゲート色調について》 4月度町づくり協議会にて色調提示し決定する予定。		(発注者からの指示による)	
《扉体のストッパーの色について》 黒で決定とする。		(発注者からの指示による)	
《箱抜寸法について》 参考箱抜図中C、D寸法は全スパンで共通となるため、必ず確保して頂きたい			
《下部工の進捗予定について》 H29年8月にU6~U19の躯体完了の予定で進めている。 他は、下水道移設等の協議の絡みが有り着手時期は未定。			
《ゲート箱抜部の挿鉄筋について》 下部工業者のほうで生コン打設時に挿鉄筋設置とする。			
《隔壁構造について1》 駆動側と従動側の側壁の間に設置する止水ゴムは、隙間をコンクリート充填構造と変更したので設置しないものとする。		(発注者からの指示による)	
《隔壁構造について2》 駆動側側壁の背面側に沿わせる形でエラスを設置し、同じく底部にも設置し、従動側の底部には挿鉄筋を設置する構造とする。(変位に対応するため)			
《隔壁構造について3》 駆動側、従動側の並びを統一する。駆動側を海に向かって右側に統一する。		(発注者からの指示による)	
《側壁部構造について》 側壁部は鉄筋不要。			
《施工時標高管理について》 実際の施工は、標高管理時-220mmで管理し、標高表示は元のままとする。 (基準標高変動のため)		(発注者からの指示による)	
《通水口、手摺、ゲート先端受金物の施工について》 通水口の型枠は下部工業者で設置し、手摺受台金物は弊社で準備し、下部工業者で設置する。ゲート先端受金物は不要。 手摺は、TP+4.080+1.100=5.180で手摺の高さを合わせ施工とする。			
《下部工図面に関して》 コンサル下部工図U7、U18に階段を誤表記しているためスパン修正後、弊社で挿鉄筋配置図、土木箱抜図を作成し、設計業者へ渡す。 手摺受台、通水口の図を下部工図面に反映して設計業者へ渡す。			

<p>《下部工図面に関して》 隔壁内の溜り水の水抜きバルブを検討すること</p>	<p>(発注者からの指示による)</p>
<p>《その他》 町づくり協議会に、隔壁部 1/2 スケール製品を見て貰い了解を得た後に正式に構造決定とする。</p>	<p>(発注者からの指示による)</p>
<p style="text-align: center;">手摺受台のイメージ</p> <p style="text-align: center;">正面図 手摺受台 側面図</p> <p style="text-align: center;">ゲート</p> <p style="text-align: center;">コンクリート 躯体</p> <p style="text-align: center;">一発打設</p>	

添付資料②

From: 日本自動機工 [REDACTED]
Sent: Friday, May 12, 2017 10:17 AM
To: nikaido-sh866@pref.miyagi.jp
Subject: 気仙沼起立ゲート

宮城県気仙沼地方振興事務所
水産漁港部 漁港漁場第一班
二階堂 修人 様

お世話になっております。

広告時の仕様書を送信します。

エレベーションの変化を設計に反映させなければならないので、今後、発注者様のほうで

エレベーション指示の工事打合せ簿(指示)の発行が必要と思われます。

以上、ご確認宜しくお願い致します。

////////////////////////////////////

日本自動機工株式会社 東北支店

[REDACTED]
〒981-3125 宮城県仙台市泉区みずほ台11-3(ワタナベビル内)

TEL:022(375)3855 FAX:022(375)3859

Mail: [REDACTED] URL: <http://www.jido-kiko.co.jp>

////////////////////////////////////

—添付ファイル:—

工事仕様書 気仙沼漁港魚町地区防潮堤起立式ゲート工事.pdf

3.3 MB

様式(共) 第2号

段階確認書・立会願

平成29年12月18日

工事番号：平成27年度県債海交復気-002号

工事名：気仙沼漁港魚町地区防潮堤起立式ゲート工事

下記の確認・立会をお願いします。(共通仕様書第3編1-1-5)

記

工種	ゲート設備据付工		
場所	気仙沼漁港 気仙沼市魚町地内		
内容	U12～U10戸当り金物据付確認検査 3門		
希望時期	平成 29 年	12 月	20 日 15 時頃
記事	据付検査成績書添付		

現場代理人	主任(監理)技術者
■	■

段階確認書結果・立会結果

確認・立会者	二階堂 修人 (印)	
実施日	12月20日	
現地・机上の別 (段階時のみ)	<input checked="" type="checkbox"/> 現地 ・ <input type="checkbox"/> 机上	
合否の別 (段階時のみ)	<input checked="" type="checkbox"/> 合格 ・ <input type="checkbox"/> 不合格	
記事	規格値の代流を以て確認した。	

- 注 1) 様式のタイトル等について該当していない箇所を消す必要はない。
 2) 「現地・机上の別」, 「合否の別」の欄は段階確認の場合について使用する。
 3) 結果の記事欄には, 段階確認時の合否の理由や立会時の課題点等を記載する。
 4) 添付資料は確認箇所の「出来型管理図表」のみを原則とし, 立会状況写真, 詳細写真等は添付の必要はない。

主任監督員	監督員
■	(印)

添付資料④

様式(共) 第2号

段階確認書・立会願

平成30年1月31日

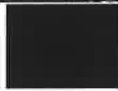

工事番号：平成27年度県債海交復気-002号

工事名：気仙沼漁港魚町地区防潮堤起立式ゲート工事

下記の確認・立会をお願いします。(共通仕様書第3編1-1-5)

記



工 種	ゲート設備据付工		
場 所	気仙沼漁港 気仙沼市魚町地内		
内 容	U7・U6戸当り金物据付確認検査		
希 望 時 期	平成 30 年	2 月	1 日
			9 時頃
記 事	据付検査成績書添付		

現場代理人	主任(監理) 技術者
	

段階確認書結果・立会結果

確認・立会者	二階堂 修人 (印)		
実 施 日	2 月 2 日		
現 地・机 上 の 別 (段 階 時 の み)	<input type="checkbox"/> 現地	<input checked="" type="checkbox"/> 机上	
合 否 の 別 (段 階 時 の み)	<input checked="" type="checkbox"/> 合格	<input type="checkbox"/> 不合格	
記 事	規格値内不脱してOKなことを確認した。		

- 注 1) 様式のタイトル等について該当していない箇所を消す必要はない。
 2) 「現地・机上の別」、「合否の別」の欄は段階確認の場合について使用する。
 3) 結果の記事欄には、段階確認時の合否の理由や立会時の課題点等を記載する。
 4) 添付資料は確認箇所の「出来型管理図表」のみを原則とし、立会状況写真、詳細写真等は添付の必要はない。

主任監督員	監督員
	

本工事費内訳表

様式 1

本工事費合計額		U12~U6戸当りのみ再製作、U12~U6掘付		円				
費目	工種	種別	細目	単位	数量	単価	金額	摘要
本工事費								
	製作工							
		直接製作費						
			扉体	式	1.0		0	再利用
			戸当り	式	1.0		20,108.075	
			開閉装置	式	1.0		1,498.000	一部再製作
		間接労務費						
			間接労務費	式	1.0		6,360.000	
		補器作費						
			起立式ゲート	式	1.0		27,966.075	
		工場管理費						
			工場管理費	式	1.0		3,207.000	
	製作原価						31,173.075	
	掘付工							
		輸送工						
			輸送費	式	1.0		3,177.000	
		掘付工						
			材料費	式	1.0		2,454.190	
			掘付労務費	式	1.0		13,634.400	ゲート取外し分含む
			直接経費	式	1.0		3,081.420	
			土木工事費	式	1.0		55,426.530	パイルション仕上げ 2門分施工含む
			(うち構造物取壊し費用	式	1.0		47,659.819)
		直接工事費		式	1.0		77,773.540	
		共通仮設費		式	1.0		10,189.000	
			設計調査費	式	1.0		0	
			共通仮設費率計上分	式	1.0		10,189.000	
	竣工工事費			式	1.0		87,962.540	
	間接工事費計						31,271.000	
		現場管理費		式	1.0		16,294.000	
		掘付間接費		式	1.0		14,977.000	
	掘付工事原価						119,233.540	
	設計技術費			式	1.0		0	
	工事原価計						150,406.615	
		一般管理費		式	1.0		24,753.385	
工事価格				式	1.0		175,160.000	(税込)
消費税相当額	8%			式	1.0		14,012.800	
本工事費計				式	1.0		189,172.800	(税込)

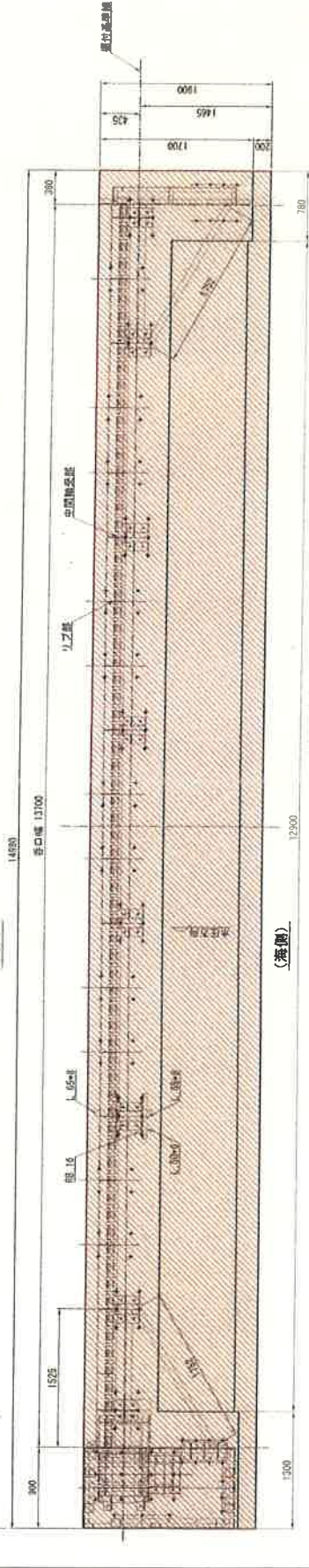
ハツリ・据付計画図-2

対象ゲート：U15, U16, U17, U18, U19

平面図

S=1/25

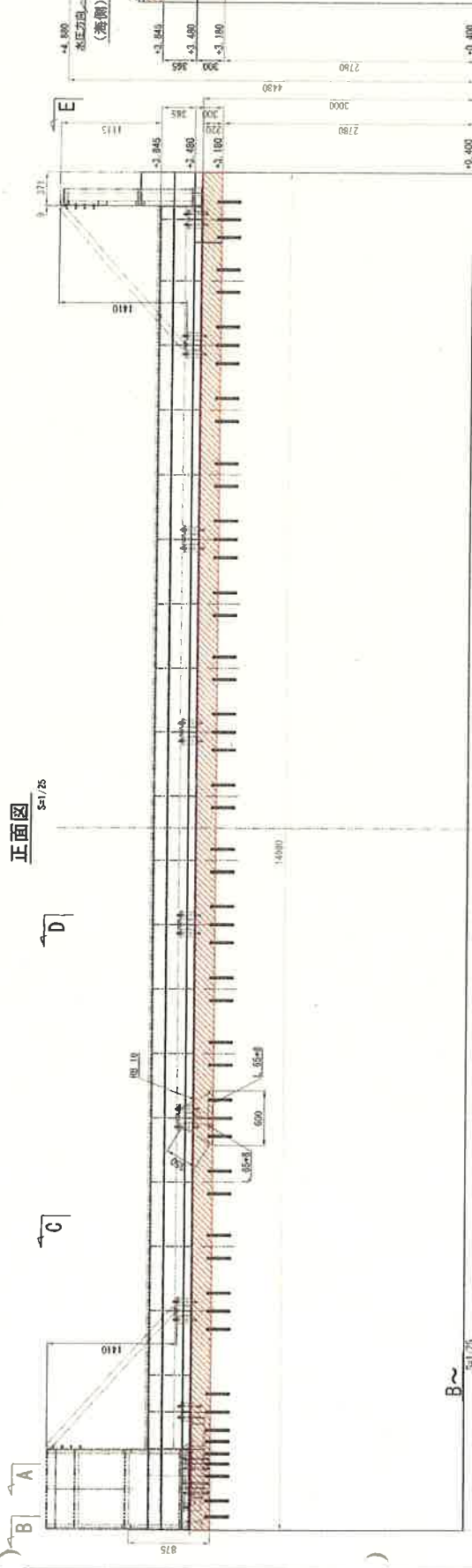
(陸側)



正面図

S=1/25

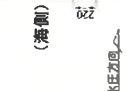
(海側)



挿筋詳細

S=1/10

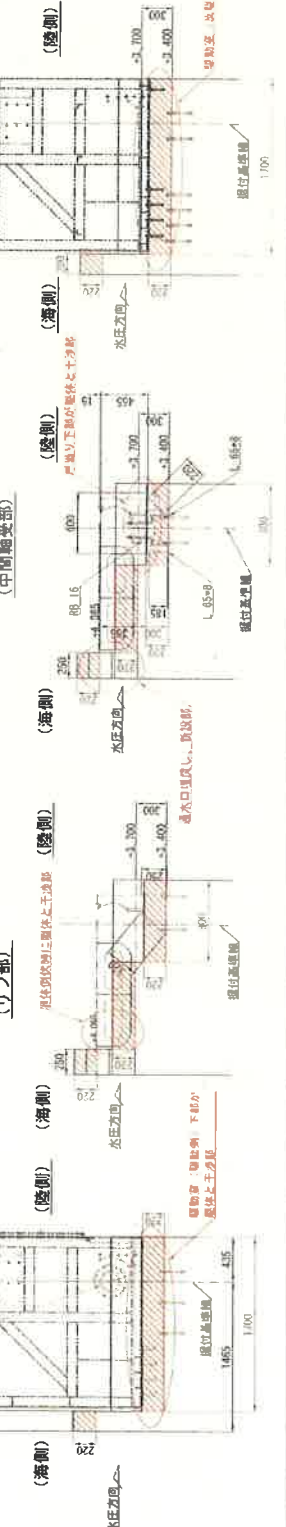
D16×250(12本)



注記

1

は、ハツリを示す。



工事名	伊勢湾開港 伊勢湾有明海防工事 (第1期)
図面名	伊勢湾開港 伊勢湾有明海防工事 (第1期) U15-U19
図面番号	U15-U19-02
設計者	日本建設コンサルタント株式会社
監理者	日本建設コンサルタント株式会社